
意味がわかると怖い話2

momoka

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

意味がわかと怖い話2

【Nコード】

N90920

【作者名】

m o m o k a

【あらすじ】

題名の通り、【意味がわかと怖い話】の第二弾です。

1話ごとに問題↓解説をしていきたいと思えます。

1話に2〜3つほど入れるので、是非見てください。

【意味がわかと怖い話1】<http://ncode.syosetu.com/n1014m/>

【意味がわかと怖い話ORIGINALver.】<http://ncode.syosetu.com/n4493m/>

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などに

は、いつさい関係ありません。

原作：2ch 意味がわかると怖い話

f i r e ' 1 【ひき逃げ】

f i r e ' 2 【くちやーに】（前書き）

沢山のご支援ありがとうございました！

新たに第二弾を投稿しますのでこれからもご支援よろしく願います！

f i r e ' 1 【ひき逃げ】

f i r e ' 2 【くちやーに】

f i r e ' 1

ひき逃げにあつて入院してたんだけど、やっと退院できた
仲の良かった友達が家に遊びに来た。

「病院にお見舞いにいけなくてごめんな」

「気にしないでよ」

「犯人の顔見たのか？」

「いやゝ、いきなりだったから覚えてないんだ」

「そうか」

「お前も気をつけろよ」

「ああ、じゃあそろそろ帰るわ。今度はちゃんとお見舞いに行くかな」

「ありがとう」

ヒント【文章の中に答えがあります】

小学生の頃、5人ぐらいで構成されたいじめのグループがあり、そのターゲットになってるA君がいた。

勉強もスポーツもダメでいつもヘラヘラしているから、いじめられやすかったのだと思う。

性格もおとなしく、いじめられても反撃せずに「やめてよう、くちやーに」と言うだけだった。

この「くちやーに」ってのは彼の口癖のようで、いじめられる時はいつも決まり言葉のように言っていた。

ある日気の毒に思ったので、彼にどうしてやり返さないのか聞いてみた。

彼はヘラヘラ笑いながら「平気だよ、だって…」と言っただけだったが、その目は笑っていないように思えた。

何しろ人の目を見て鳥肌が立ったのは、後にも先にもその時だけだったから。

翌年彼は転校し、みんな彼のことは忘れていった。

それから20年ほど経ち、同窓会でほどよくアルコールが回ってきた頃「そういえば」と友人が話し始めた。

どうもA君をいじめていたグループが全員亡くなったらしい、しかも全員自殺…と。

その友人も詳しくは知らないが、いじめグループは中学に入った頃から精神的におかしくなり始め、

強制入院させられたが、半年以内に院内で自ら命を絶ったらしい。

そんなことがあったのか、なんか怖いなと思ったとき彼の口癖を思い出した。

ヒント【くちやーに・・・くちあに・・・】

f i r e ' 1 【ひき逃げ】 f i r e ' 2 【くちやーに】（後書き）

この話は全てフィクションです。実際の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

f i r e ' 1 【ひき逃げ】

f i r e ' 2 【くちやーに】解説（前書き）

更新かなりおそくなりました；
ちよいちよい更新していきますw

f i r e ' 1 【ひき逃げ】

f i r e ' 2 【くちやーに】解説

f i r e ' 1

ひき逃げにあつて入院してたんだけど、やっと退院できた
仲の良かった友達が家に遊びに来た。

「病院にお見舞いにいけなくてごめんな」

「気にしないでよ」

「犯人の顔見たのか？」

「いや、いきなりだったから覚えてないんだ」

「そうか」

「お前も気をつけろよ」

「ああ、じゃあそろそろ帰るわ。今度はちゃんとお見舞いに行くかな」

「ありがとう」

退院したのにお見舞いに行く・・・
今度はちゃんとお見舞い（ひき逃げしに）に行く・・・

f i r e
' 2

小学生の頃、5人ぐらいで構成されたいじめのグループがあり、そのターゲットになってるA君がいた。

勉強もスポーツもダメでいつもヘラヘラしているから、いじめられやすかったのだと思う。

性格もおとなしく、いじめられても反撃せずに「やめてよう、くちやーに」と言うだけだった。

この「くちやーに」ってのは彼の口癖のようで、いじめられる時はいつも決まり言葉のように言っていた。

ある日気の毒に思ったので、彼にどうしてやり返さないのか聞いてみた。

彼はヘラヘラ笑いながら「平気だよ、だって…」と言っただけだったが、その目は笑っていないように思えた。

何しろ人の目を見て鳥肌が立ったのは、後にも先にもその時だけだったから。

翌年彼は転校し、みんな彼のことは忘れていった。

それから20年ほど経ち、同窓会でほどよくアルコールが回ってきた頃「そういえば」と友人が話し始めた。

どうもA君をいじめていたグループが全員亡くなったらしい、しかも全員自殺…と。

その友人も詳しくは知らないが、いじめグループは中学に入った頃から精神的におかしくなり始め、

強制入院させられたが、半年以内に院内で自ら命を絶つたらしい。

そんなことがあったのか、なんか怖いなと思ったとき彼の口癖を思い出した。

ねあーにも有名ですがこれは漢字を左から読んでいるのです。
くちやーに・・・くちあに・・・呪

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9092o/>

意味がわかると怖い話2

2011年9月24日16時34分発行